

令和6年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	横須賀市聴覚障害者協会		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		☐ボランティアグループ等
	☐市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	☐協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	手話による傾聴ボランティア		
事業の目的	手話を母語とする高齢聴覚障害者の交流の場の提供と傾聴		
事業概要	<p>生まれたときから耳が聞こえず手話を母語として生活してきた高齢者に対し、手話で会話ができる場所を提供しています。手話で楽しくおしゃべりをしたり、健康についてのミニ講義や季節に合わせたテーマで工作の作成、また誰でも参加できる楽しいゲーム等を企画し行っています。この活動も2年目となり、当初は緊張されていた方も今では月に1度のこの日を心待ちにされている様子です。もっと開催の数を増やしてほしい等のお声もいただき、この活動の重要性を実感しています。</p> <p>① 「手話ベリカフェ」・・・毎月1回開催 場所：横須賀市立総合福祉会館 毎月10～15人の利用者さんに対して、まずはお茶を飲みながらゆっくりおしゃべりしていただき、そのあとにゲームや工作を行います。決して無理強いはせず、ひとりひとりを見守りながらその方のペースに合わせて楽しんでもらえるように心がけています。楽しく作成した工作物は毎回持ち帰っていただいています。スタッフも利用者さんとほぼ同じ人数が毎回参加し、安全面に配慮しつつ、一緒に楽しい時間を過ごしています。</p> <p>② 「個別型傾聴」・・・要望に合わせて 場所：個人宅や入居施設 毎月の手話ベリカフェに都合が合わなかった方や会場での参加が難しい方に対し、スタッフがご自宅や入居施設にお伺いし、約1時間ほどおしゃべりをしたり傾聴を行っています。</p> <p>③ 「傾聴学習会」・・・年数回 場所：横須賀市総合福祉会館 外部から講師を招いて、スタッフの傾聴技術の向上や研鑽の為に毎年学習会を開催しています。学習によって新たな気づきを得たり、自分を振り返り反省することでよりよい傾聴ができるように努めています。</p>		
成果や課題	手話による傾聴ボランティアも2年目となりました。定期的に参加して下さる方も増え、手話言語で心置きなく会話の出来る場所の重要性を改めて感じています。まだこの活動を知らない方もおられると思うのでそういった方々の掘り起こし、情報提供が課題です。また昨年同様に送迎ドライバーの不足が課題となっています。送迎希望者も年々増えており今後も増える予測の中、ドライバーの確保が慢性的な課題となっています。助成金終了後の運営についての資金の確保も喫緊の課題です。		
今後の展望	今後も同様の手話ベリカフェを行い、利用者の方にさらに楽しんでもらえるイベント作りも考えていきたいと思っています。また参集が難しく個別型傾聴の希望に対しても応えて行きたいと思っています。そしてこの活動の更なる周知のために SNS や HP を作成し、賛同してもらえる企業や団体と連携できたらと考えています。これから長く活動していくためにも協力者を増やし、笑顔があふれる手話ベリカフェを継続していきたいと思っています。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			